

経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県 伊万里市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.24	99.43	3,420

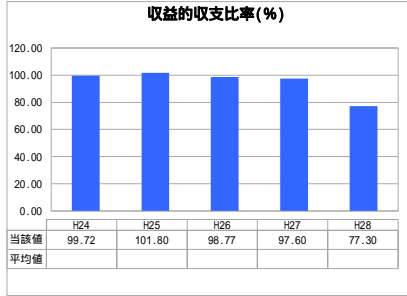
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,034	255.25	219.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,814	0.93	1,950.54

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



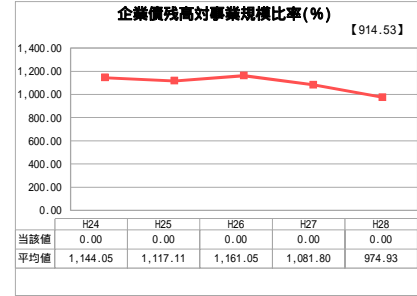
「単年度の収支」



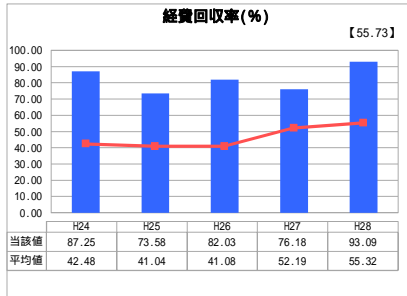
「累積欠損」



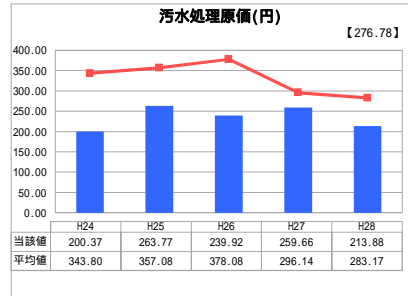
「支払能力」



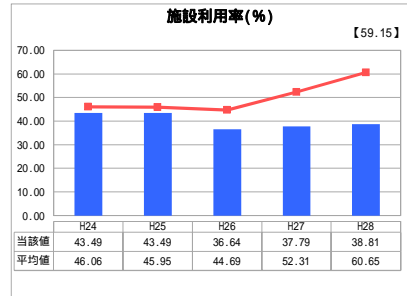
「債務残高」



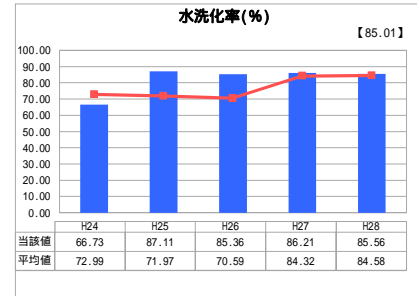
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

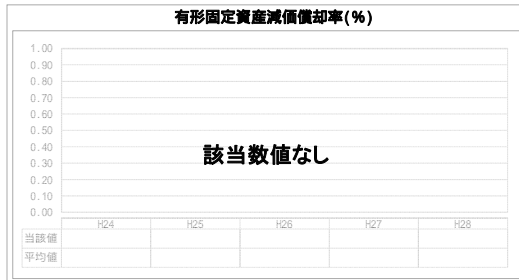


「施設の効率性」

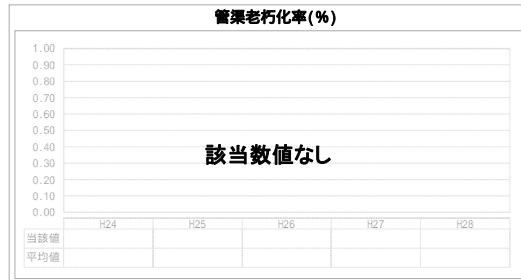


「使用料対象の捕捉」

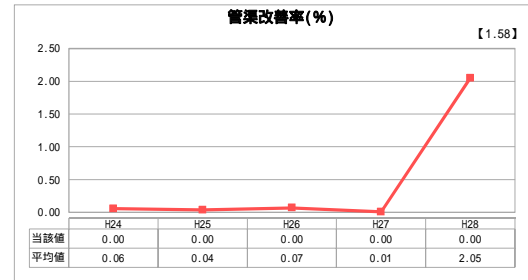
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の農業集落排水事業は収益的収支比率が100%前後で推移していたが、平成28年度は一般会計からの繰入金の減に伴う総収益の減により、77%となっており、繰入金に大きく依存している状況があらわれている。このため、収入面では水洗化率の向上を図るとともに、料金単価の見直しを検討するなど、収入の確保に努めていく必要がある。

支出面では長寿命化対策を計画的に行うことで、維持管理費等の削減に努めていく必要がある。

また、効率性については、区域内人口の減少等により、施設利用率が平成25年度より減少しているため、水洗化率の向上等による処理水量の増加に努め、効率的な施設利用に努めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成12年度の供用開始から16年が経過し、老朽化が進んでいる施設もあることから、各施設の長寿命化計画を作成し、計画的に長寿命化対策を実施している。

全体総括

経費回収率は類似団体を上回っているが、一般会計からの繰入金に大きく依存している状況である。また、今後は、施設の老朽化対策等による支出が増加していく見込みである。

このため、維持管理費等の経常費用を削減するとともに、水洗化率の向上と料金単価の見直しによる料金収入の増加を図り、経営の健全化に努めたい。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。